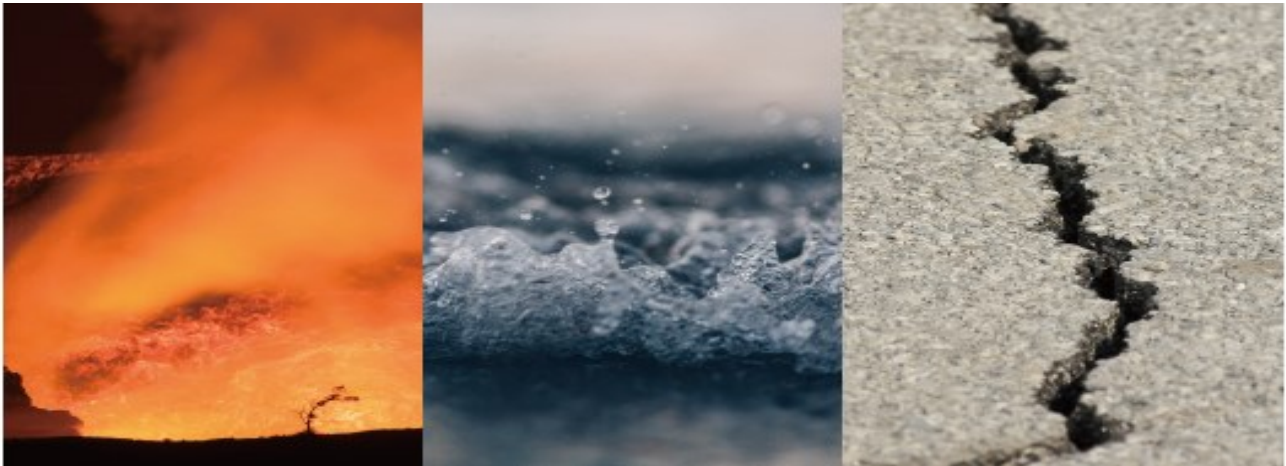




# 災害支援活動者養成研修

神奈川県社会福祉士会の災害支援活動に参加しませんか？



11月23日(土)・24日(日)

ビジョンセンター横浜

309号室 (横浜駅西口徒歩5分)

横浜市西区北幸2-5-15 プレミア横浜西口ビル3F

## 参加費

2日間で10,000円

## 対象者

下記のいずれかに該当する方

- (1)各都道府県社会福祉士会に所属している会員
- (2)研修受講後に各都道府県社会福祉士会において災害支援活動を行う意思がある会員
- (3)本テーマに関心のある非会員

※定員を超えた場合は神奈川県社会福祉士会会員を優先させていただきます。

※非会員の方も受講はできますが、認証研修の単位は取得できません。



## 定員

50名

## お問い合わせ先

公益社団法人神奈川県社会福祉士会事務局

〒221-0844

横浜市神奈川区沢渡4-2 神奈川県社会福祉会館 3階

TEL 045-317-2045 / FAX:045-317-2046

E-mail : [web@kacsw.or.jp](mailto:web@kacsw.or.jp) (月～金 9:00-17:00)

## 研修目標

本研修は、東日本大震災での対応を基に、社会福祉士会が災害支援活動に取り組む時、個々の社会福祉士としての支援活動への取り組み姿勢と知識を学び、平時からの災害支援体制の構築を目的に開催します。

## 主催

公益社団法人神奈川県社会福祉士会

## 日程および会場

日程：1日目 2019年11月23日（土） 9:30-17:20

2日目 2019年11月24日（日） 9:30-17:30

会場：ビジョンセンター横浜 309号室  
（横浜駅西口徒歩5分）

1日ずつの参加及び代理での参加はできません。

## 修了要件

1. 講義及び演習の全過程への出席とする。受講者の出席確認を次元単位（コマ）で行う。1コマの5分の1以上の遅刻・早退は欠席とする。
2. やむを得ない遅刻・早退は1コマの5分の1以内について認め、遅刻・早退3回で1回の欠席とする。
3. 事後課題（レポート）の評価が「可」であること。課題が「不可」の場合、1回のみ再提出を認める。

## 研修単位

1. 認証研修番号：20170024
2. 科目/区分：分野専門科目（地域社会・多文化分野）  
/群：ソーシャルワーク機能別科目/科目名：災害対応・支援（分野共通）
3. 研修単位：1単位

【申込締切】2019年11月15日（金）（先着順、定員となり次第締め切ります）

## 研修内容

### 1日目

9:30-9:40	オリエンテーションと開会挨拶		
9:40-10:40 (60分)	災害対応ガイドライン・マニュアルの理解 石橋 正道 氏（本会前理事）	講義	- 災害対応ガイドライン・マニュアルを理解する - 災害支援活動者として活動するために必要な姿勢とは何かを理解する - 災害支援活動者として災害発生時の対応、及び減災目的の体制整備について理解する
10:40-10:50	休憩		
10:50-12:20 (90分)	ソーシャルワーカーによる災害支援 大島 隆代 氏（早稲田大学 人間科学部健康福祉科学科 准教授）	講義	- 災害時における支援（ソーシャルワーク）について、社会福祉士の倫理綱領・行動規範に照合し、その価値・原則に基づいた社会福祉士（支援者）としての立ち位置、支援方法などについて獲得する。
12:20-13:20	昼休憩		
13:20-14:20 (60分)	日本社会福祉士会の被災地支援活動について 佐藤 雅美（本会元理事）	講義	- 社会福祉士の支援 - 日本社会福祉士会の東日本大震災における支援活動
14:20-14:30	休憩		
14:30-16:00 (90分)	被災者心理の基本的理解 逢澤 詳子 氏（ソクラテスプロジェクト代表）	講義	- 被災者の心理の基礎的理解

16:00-16:10	休憩		
16:10-17:10 (60分)	災害救助法と支援制度 岡本 正 氏 (弁護士・銀座パートナーズ法律事務所)	講義	- 災害時における法・制度の理解 - 災害時における情報収集方法について - 被災地でネットワークを構築するために必要な知識などを学ぶ
17:10-17:20	閉会		合計 360 分

2日目

9:30-12:10 (160分 ・休憩 10分)	支援に赴いた立場から I～災害ソーシャルワークにおける積極ニーズ把握・アセスメントの実際～(グループワーク) 本多 洋実 氏 (本会前会長)	講義 演習	- 避難所から仮設住宅への転居時における積極的なニーズキャッチ・アセスメントの実際 - 各ステージで求められているアセスメントの視点の違い、支援対象の違いを理解し、次のステージで求められる地域支援の演習へとつなぐ - 演習① (訪問準備) - 演習② (面接対応) - 演習③ (地域包括支援センターへの引き継ぎ)
12:10-13:10	休憩		
13:10-14:20 (70分)	支援を受け入れた立場から DVD 視聴 (45分)・グループワーク「被災地が求める支援とは」(25分) 災害対策委員	講義 演習	- 日本社会福祉士会が作成した DVD を視聴し、被災地支援を受け入れた立場からの思いや、実際の活動などについて学ぶ。 - 視聴に基づき、テーマ「被災地が求める支援とは」についてグループワークを行う。 - 災害発生時(初期段階)で支援展開過程に則り行われるアウトリーチ実施のなかでニーズキャッチ、アセスメントの実際
14:20-17:20 (180分 ・休憩 10分)	支援に赴いた立場から II～地域ネットワークの構築の実際～(グループワーク 3時間) 山下 康 (本会会長)	講義 演習	- 被災地ネットワーク再構築における支援の実際のイメージ化 - 企画シートの作成 - 事業の効果の共有
17:20-17:30	閉会		合計 400 分

**事前課題**

避難所生活をするクライアントに対して行うべき支援方策を一つあげ、その方法や活用すべき社会資源などについて (600 字から 1,000 字)

**事後課題**

修了レポート「災害支援活動における社会福祉士の役割について」(600 字から 1,000 字)

# 2019 年度 災害支援活動者養成研修 申込書



←申し込みフォーム <https://ws.formzu.net/dist/S7435715/>

※氏名、所属先名については当日の名簿に掲載させていただきますのでご了承下さい。  
下記の通り申込みます

会員区分	日本社会福祉士会が発行した会員番号 1. <input type="checkbox"/> 会員 NO. ( _____ ) 2. <input type="checkbox"/> 非会員	所属の都道府県社 会福祉士会名	※会員の方のみご記入ください
氏名 <small>ふりがな</small>		勤務先名	
勤務先 種別	1. <input type="checkbox"/> 入所施設 2. <input type="checkbox"/> グループホーム 3. <input type="checkbox"/> 就労系事業所 4. <input type="checkbox"/> 相談支援 5. <input type="checkbox"/> 生活介護 (通所系) 6. <input type="checkbox"/> その他 ( _____ )	分野	1. <input type="checkbox"/> 身体障害者関連 2. <input type="checkbox"/> 知的障害者関連 3. <input type="checkbox"/> 精神障害者関連 4. <input type="checkbox"/> 児童関連 5. <input type="checkbox"/> その他 ( _____ )
実務経験	1) <input type="checkbox"/> 1年未満    2) <input type="checkbox"/> 3年未満    3) <input type="checkbox"/> 5年未満    4) <input type="checkbox"/> 10年未満    5) <input type="checkbox"/> 10年以上		
連絡先	住所 ( <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 ) 〒		
	携帯番号 :		FAX :
	E-mail アドレス (ある場合のみ)		
備考 (参加にあたって特に配慮を要することなどがあればご記入ください)			

※一旦お申込みいただきました内容に変更等が生じた場合は、必ず書面にてご連絡ください。

※お預かりした個人情報、当研修の運営目的以外には使用いたしません。

【申込方法】 必要事項をご記入の上、ホームページ、メール添付、または FAX にてお申し込みください。

お申し込みの際は、必ず控えをお持ちください。

【申込締切】 2019 年 11 月 15 日 (金) (先着順、定員となり次第締め切ります)

※受講の可否は、順次文書にて通知します。